

トピックス

- ★ 第4回講義：企業と社会の変化を知ろう！
- ★ 第5回講義：学位取得者に期待されることとは
- ★ H26年度、2名が長期インターンシップを修了

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人
東京海洋大学
Tokyo University of Marine Science and Technology
国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● 第4回 高度専門キャリア形成論の報告

『いま、企業が求める人材とは』 塩谷和美 特任教授 **詳細はHPで**

平成26年6月19日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパスA100教室

4月から始まった、塩谷先生のキャリアデザイン講義のシリーズ 第2弾！
企業の変化を知り、自分自身を知ること、就活にどう備えるか...

◆ 時代は変化している

『将来どうなりたいか』のイメージを持って就活に臨んだ方が良い。目標をしっかり持っていれば、もし違って軌道修正ができる。これが、キャリアデザインの基本的な考え方だ。自分の将来について、これまであまり考えたことが無い人も、そろそろ準備を始めてはどうだろうか。



◆ 企業の変化と就職先の多様性

この20年で、企業の採用は次第に縮小し、大学教員の職も狭き門になりつつある。社員の1/3が非正規雇用の時代に、皆さんにはぜひ正社員を目指してほしい。『就職の手引き』（就職支援課）には、先輩たちがどんな会社に就職したかが載っているので、会社選びに活用してほしい。また、中堅企業の方が、任される仕事の責任領域が広く、自分のやりたいことができるという利点があることも知っておいてほしい。

◆ 面接の極意とテクニック

塩谷先生から、面接の極意とテクニックが、具体例を示して紹介されました。人に負けないものを持つこと、そして熱意と強い意思を売り込むことが面接である。面接時には、自分がこれから『伸びる可能性』があることをアピールする必要がある。特に博士号取得者には、これまでやってきたことも大事だが、『これだけしかできない』はダメなことを知ってほしい。

◆ 就職準備度のセルフ・アセスメントを実施

就職に対する準備度を知るセルフアセスメントが実施されました。『就職に備える』とは、自分の意識を改革して、実際に行動を起こすことが大事である。そして、『楽水会名簿』も大いに活用し、40代でバリバリ働いている人を探して会ってみるとよい。

◆ 今回もグループワークを2つ実施

今回も、提示された課題について、1分間考えて隣どうして話し合うワークが行われました。最後に、「気楽に、何でも相談しに来てほしい」と述べて、本日の講義が締め括られました。



● 第5回 高度専門キャリア形成論の報告

『水産・海洋科学の最前線で働く』 **詳細はHPで**

平成26年7月10日(木) 16:20~17:50 於 品川キャンパス白鷹館2F

最前線で活躍する組織のリーダー、40歳代の二人の博士が講演されました。学位取得者に期待されることとは...

田中智行氏 株式会社マリノ・ワーク・ジャパン

旧水産大を卒業後に名古屋大学で博士号を取得し、10年前に現在の会社に就職した。博士後期課程に進学して、就職の幅を狭めた感はあるが、同時に『海に関わる仕事で研究職に就きたい』という職業観を持った。

アラスカ大学での仕事は、新たなチャレンジであり、英語圏での生活経験と人脈を得ることができた。その後、海洋観測船『ちきゅう』を立ち上げる仕事に携わっている。とてもやりがいがあり、英語も役に立っている。

大学でやっていたことと、今やっていることはかなり違っているが、一貫して『海に関係する仕事』と『サイエンス』に関わって来たことに満足している。これから就職を控えた受講者たちが、いま考えなければならないことは、『将来を見通す力、教養を深めること、語学力』の3つ。変化に対応できる人こそが、生き残っていける。皆さんはどう思いますか？



渡邊一功氏 一般社団法人漁業情報サービスセンター

サンマは、8~12月にかけて、水温の低下と共に東沿岸から徐々に南下する。しかし、昨年はなかなか南下しなかったため、漁場が沖合へと遠くなってしまった。衛星や漁船や水揚げ等の情報を元に、日々大きく変化する海の分布図等を作って、漁業者や流通加工業者に提供することが仕事。

修士を卒業して直ぐに、現在の会社に就職した。もともと、社会に出てから博士を取ろうと考えていたし、現在の会社はそれができる環境だった。

博士は、年齢に応じた一般常識もあると見られるので覚悟した方がよい。学部卒で5年間働くと、それなりの力を付ける。アルバイトでも良いから、社会に出た方がよい。現場を知れば、ビジネスマナーやルールが大体見えてくるし、人脈もできる。将来は、皆さんが業界をリードする立場になっていく。真の力を付けて、大きく羽ばたいてほしい。



● ワークショップの開催決定！ 9/18(木) 16:20~

- ✳ 長期インターンシップ体験談 + 受入企業様 が続けて発表!!
- ✳ 企業トップと直接話せる懇談会も開催 《毎回大好評》

● 長期インターンシップ募集中！

長期インターンシップの近況報告

- ✳ H26年度になって、既に2名が長期インターンシップを修了しました。(そのうち、1名は研修先企業に就職されました。おめでとうございます！)

◆ キャリア開発室の活動内容や最新情報、各種パンフレットや申請書等を入手できます。

<http://www.kaiyodaicareer.com/> または、大学公式HPのリンクから →

※ 要望や質問等は、お気軽にキャリア開発室までご連絡ください。

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム